

質問日	令和2年6月5日(金)		質問方式	分割方式			
質問順位	4	会派名	公明党	議席番号	34	氏名	黒田 豊
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 新型コロナウイルス感染症収束後の再生に向けて	<p>新型コロナウイルス感染症(以下、コロナという)緊急事態宣言が全国で解除されたが、第2波、3波が懸念される。しかし、段階的に経済活動や教育・文化・スポーツ活動を再開し、市民生活も回復させなければならない。併せて、市民生活や経済活動への支援は引き続き必要であり、国においては二次補正予算も今国会中に成立する運びである。今回の補正予算で予定されている地方創生臨時交付金は地方の独自策に支援するための交付金で、より細かく具体的な施策に充てられるとも聞いている。そこで本市も、その準備も含め、再生に向けさらなる取組が必要と考えることから、以下伺う。</p>						
(1) 国の二次補正予算に対する考え方と本市の取組について	(1) 国の二次補正予算は5月27日に閣議決定され、6月12日頃に成立が想定されており、特別家賃支援給付金、いわゆる家賃支援が目玉となっている。地方創生臨時交付金も前回より約2兆円上積みされるとも聞いており、かなりの自由度があるようだが、コロナ後における市民生活や経済の再生、コロナ拡大防止に向けた、きめ細かな取組が必要であると考え。そこで、家賃支援をはじめとする二次補正予算についての考えとそれに伴う本市の取組について伺う。						鈴木市長
(2) コロナ後のスポーツ施策について	(2) コロナによりスポーツ界もかつてない大打撃を被った。今後、市民生活や経済活動のV字回復が求められるが、スポーツ活動は二の次ではなく最優先に取り組まなければならない。そこで、子供たちが将来に向け夢が持てるようなことを発信して元気になってもらいたいと思うが、コロナ収束後の様々なスポーツ活動の振興に向けた取組の考え方について伺う。						//
(3) 市民を元気づける新美術館をはじめとする新たな文化施設構想について	(3) 新たな文化拠点として、浜松城周辺が市民文化創造拠点施設の整備候補エリアと示されている。特に現在、コロナの影響で経済や市民活動も落ち込んでおり、市民に新しい話題を提供し元気になってもらうことも重要ではないか。そこで、当エリアへの新美術館をはじめとする新たな文化施設構想を発信すべきと考えるが伺う。						//
(4) 双方向のオンライン教育の構築について	(4) 今回ほど双方向でのオンライン教育の必要性を感じたことはなく、そのための環境整備を急がねばならない。このことは学校休業時のみならず、不登校や引き籠もる児童生徒の学びやインフルエンザ等の学級閉鎖等にも対応でき、教育の機会均等が確保できるものとして期待できるものである。そこで本市における双方向のオンライン教育実現に向けての現状と今後の整備について伺う。						//

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
(5) 児童生徒へのメンタルヘルス体制の構築について	(5) コロナにおける学校休業は過去に例を見ない長期となり、本市の児童生徒において生活リズムの崩壊や少年団活動・部活動の自粛など、様々な環境の変化による心身のストレスの蓄積などで登校できない等々、子供たちのメンタルヘルスを支援する体制が求められるが、その考えを伺う。	花井教育長
<p>2 スポーツ事業の取組について</p> <p>(1) スポーツの成長産業化について</p> <p>(2) ジュニアスポーツの聖地に向けて</p>	<p>(1) 市のスポーツ推進計画では、スポーツの成長産業化がうたわれている。国、地方自治体の取組には違いがあるが、県営野球場建設計画が進み、四ツ池公園の再整備を議論している本市は十分にスポーツを成長産業として位置づけることができるのではないかと考える。そこで、スポーツの成長産業化への考えを伺う。</p> <p>(2) コロナ収束後の再生に向け、本市としても子供たちに笑顔が戻るような取組が必要と思う。そこで、子供たちが笑顔になるような魅力的なイベントの開催が必要と思う。長い目で見れば、ジュニアスポーツの全国大会が数多くの種目で開催されるような、いわゆる聖地として全国の子供たちにも魅力となる取組を進めるべきと考えるが伺う。</p>	<p>鈴木副市長</p> <p>中村文化振興担当部長</p>
<p>3 中心市街地の再生に向けて</p> <p>(1) JR浜松駅北口バスターミナルについて</p> <p>(2) 地下空間の活用について</p> <p>(3) 文化事業とのコラボレーションについて</p> <p>(4) 商店街との関わりについて</p>	<p>(1) 現在、バスターミナルに移動するだけのために市民を地下に誘導している。また、バスターミナルの一番外のレーンはバスの駐車場になっている点も改善しなければならない。外側レーンを乗客のためのスペースに改修すれば駅等からバリアフリーでバスに乗り込むことができる。そのためにはバスは現在の反対方向、時計回りに変更する必要がある。そこで、バスターミナルをさらに利用しやすい施設とすべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 駅周辺の地下広場等の地下道は、単に人が移動するだけの空間となっていることから、活用すべきと考える。そこで家族連れなど市民が集い、にぎわいのある空間となるような活用についての考えを伺う。</p> <p>(3) アクトシティ周辺で実施される文化事業等に年間 80 万人もの人が来場している。これらの市民等を中心市街地に誘導する施策を実施し、相乗効果の中で活性化が図れないか伺う。</p> <p>(4) 商店街の特色を生かしながら、にぎわいを取り戻さなければならない。以前、トランジットモールも行ったが、商店街独自の活動に理解を示し、行政が携わり、再生に取り組めないか伺う。</p>	<p>大村都市整備部長</p> <p>宮城産業部長</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(5) 防犯対策について</p> <p>(6) 浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画について</p>	<p>(5)</p> <p>ア 客引きの現状と今後の取組について 中心市街地の活性化には、市民が安心して訪れることができる環境づくりが必要である。浜松市客引き行為等の禁止等に関する条例が本年4月に全面施行されたばかりであるが、客引きの現状と今後の取組について伺う。</p> <p>イ 中心市街地の防犯力強化のために 週末深夜のけんかなど、犯罪以外に警察に届け出ない案件もあり、繁華街の体感治安悪化の声が聞こえるが、中心市街地の防犯力強化の取組について伺う。</p> <p>(6) 昨年9月の代表質問でも取り上げたが、浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画の策定状況について、現状と課題を伺う。</p>	<p>奥家市民部長</p> <p>高須土木部長</p>
<p>4 浜松市域 R E 100 の実現について</p> <p>(1) 水素社会の実現に向けた基本的な考えと今後の取組について</p> <p>(2) 太陽光発電施設の廃棄対策について</p> <p>(3) 2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに向けた取組について</p>	<p>(1) 徹底した省エネと新たなイノベーションの一つに、水素社会の実現が掲げられている。また、本年3月に、福島県浪江町に再生可能エネルギーから水素を製造する大規模な実験施設が稼働し、水素社会実現モデルを構築する取組が始まった。そこで、将来の水素社会実現に向けた本市の基本的な考え方と、今後の取組を伺う。</p> <p>(2) 太陽光発電設備の寿命は一般的に20年から30年とされている。将来的に事業終了後、その設備は廃棄物となるため、適正処理が課題となってくる。また事業者の倒産などにより設備が放置されたままの状態となることも心配である。昨年12月に制定した浜松市適正な再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例では、これらの設備の廃止に係る届出手続が義務化されたものの、今後、実際の廃棄物処理は、厳格になさなくてはならない。そこで、今後の発電設備に係る廃棄対策の考えを伺う。</p> <p>(3) 二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、掲げた戦略を確実に進めていくには、現状の把握と具体的にどのように取り組むのかを示すことが重要である。そこで、本市の二酸化炭素排出量の現状とさらなる削減に向けた施策の推進についての考えを伺う。</p>	<p>鈴木市長</p> <p>宮城産業部長</p> <p>影山環境部長</p>
<p>5 中山間地域の支援策について</p> <p>(1) 森林環境譲与税の使途と人材確保について</p>	<p>(1) 森林環境譲与税の使途について、現在、意向調査を行っているという。現場の声は、新たな事業を示されても、それに当たる人材の確保が困難で、労務の確保</p>	<p>山下農林水産担当部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(2) 皆伐推進のために</p> <p>(3) 改質リグニンの現状について</p> <p>(4) ローカル5Gについて</p>	<p>が難しいとのことである。特に天竜区水窪町では通うことが困難であるがゆえに、空き家活用で移住による人材確保が望ましいとの指摘もある。そこで、森林環境譲与税の使途と人材確保についての考えを伺う。</p> <p>(2) 皆伐を推進するためには、作業路の確保などが重要であるが、天竜区内の多くの山林は急斜面が多く十分な作業路が確保できないことから、架線集材の手法が有効である。そこで、浜松市域R E100の実現にも大いに寄与する、皆伐推進策についての今後の考えを伺う。</p> <p>(3) 平成29年9月の代表質問において、杉の端材等を原料として製造される改質リグニンは、中山間地域の新たな産業と雇用の創出につながるとして、当局の考えをただしたが、その後の動向と本市の取組について伺う。</p> <p>(4) 第5世代移動通信システム、いわゆる5Gが注目を集めている。これまで天竜区への光回線の整備は議論されていたが、莫大な予算が議論の妨げになっていた。しかし、5Gは無線であり、伝送路として光ファイバー網を増設するだけでよい。ただし、携帯電話事業者4社が5Gを実施するようだが、天竜区への優先的整備を要望しても不透明である。そこで、総務省が推奨しているのがローカル5Gである。これは、携帯電話事業者4社以外でも免許制で利用できるため、本市の意向に沿った整備が可能である。広大な市域といえどもデジタルファースト宣言した本市であり、情報格差はあってはいけないと思う。そこでローカル5Gの整備についての考えを伺う。</p>	<p>山下農林水産担当部長</p> <p>〃</p> <p>内藤企画調整部長</p>
<p>6 事前防災など防災の取組について</p> <p>(1) BCPの中の職員配置の状況について</p> <p>(2) 避難所の感染拡大防止対策強化策について</p>	<p>(1) 近年の災害で課題が明らかになっていることとして、災害時や復興に向けて取り組む中で市職員に不足が生じ、支障を来しているというような記事を目にする。そこで、本市において、BCPにおける職員配置の状況について伺う。</p> <p>ア コロナ対策に取り組む職員に不足が生じていると聞くが、BCP新型インフルエンザ等対策編を活用した職員配置の状況を伺う。</p> <p>イ BCP地震対策編において、発災後直ちに実施しなければならない応急業務や復旧復興業務への必要人数や通常業務の必要人数があると思うが、災害時における職員配置について伺う。</p> <p>(2) 近年の豪雨災害は大規模であり事前の準備は怠れない。また、コロナ対策として避難所の3密対策も急がねばならない。幸い、地方創生臨時交付金の活用も可能であることから、早急に詳細な準備をすべきと考えるがどうか伺う。</p>	<p>金原総務部長</p> <p>小松危機管理監</p> <p>〃</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>(3) 消防団・水防団への支援策について</p>	<p>(3) 事前防災を考えると、その人材として消防団員・水防団員の確保が重要である。私たちは、消防団・水防団には最大の感謝と敬意を払わなければならない。岐阜県では、「ありがとね！消防団水防団応援事業所制度」を立ち上げ、登録店舗において、飲食や買い物の際の特典の付与や施設利用、銀行では金利の優遇措置などの事業を展開している。そこで本市においても、市内店舗等に協力を願い、消防団・水防団に対し、感謝の思いで応援する制度の創設を図るべきと考える。そこで以下伺う。</p> <p>ア 消防団への支援等について伺う。</p> <p>イ 水防団への支援等について伺う。</p>	<p>鵜飼消防長 高須土木部長</p>
<p>7 浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムについて</p> <p>(1) 事業内容と将来像について</p> <p>(2) M a a S構想との連携について</p> <p>(3) その取組について</p>	<p>(1) 具体的な事業内容と、最終的に目指す将来像について伺う。</p> <p>(2) 本市が取り組むM a a S構想との連携について伺う。</p> <p>(3) 自己満足に陥らず、市民に分かりやすい事業展開が重要であり、その取組について伺う。</p>	<p>朝月デジタル・スマートシティ推進事業本部長</p>